

注3

大学番号：私282

[平成28年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

注1

届出

大阪成蹊大学 マネジメント学部 スポーツマネジメント学科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人大阪成蹊学園
平成28年5月1日現在

作成担当者

経営企画本部

クイエイカクホンプチョウ
経営企画本部長

ミヤチ シゲキ
宮地 茂樹

電話番号 06-6829-2620

F A X 06-6829-2802

e-mail ksh@osaka-seikei.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成28年3月30日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

マネジメント学部

＜スポーツマネジメント学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	10
4. 既設大学等の状況	11
5. 教員組織の状況	13
6. 留意事項等に対する履行状況等	20
7. その他全般的事項	21

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 大阪成蹊学園

(2) 大学名

大阪成蹊大学

(3) 大学の位置

〒533-0007

大阪府大阪市東淀川区相川3丁目10番62号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(イイシゲル) 石井 茂 (平成25年4月)		
学長	(ムサシ マコ) 武蔵野 實 (平成25年4月)		
学部長	(スギハラ ミツ) 杉原 充志 (平成28年4月)		
学科長等	(ウエタ シンジ) 植田 真司 (平成28年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成26年度に報告済の内容 → (26)

平成28年度に報告する内容 → (28)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成25年度開設の4年制の学科の場合(平成28年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
マネジメント学部 スポーツマネジメント学科 学士(経営学)	4年	90人	- 年次人	360人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	90人 (-) [-]	-人 (-) [-]	-人 (-) [-]	-人 (-) [-]	-人 (-) [-]	-人 (-) [-]	-人 (-) [-]	-人 (-) [-]	1.21 倍	
志願者数	247 (-) [1]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]		
受験者数	241 (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]		
合格者数	133 (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]		
B 入学者数	109 (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]		
入学定員超過率 B/A	1.21		-		-		-			

- (注) ・ 数字は, 平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ [] 内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] (-) 109	[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -	
2年次	/		[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -	
3年次			/		[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -
4年次	/				[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -
計			[-] (-) 109	[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -

- (注) ・ 数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

科学技術と環境の理解と地域文化	生命と科学	1・2・3・4後		2						兼1		
	環境と科学	1・2・3・4後		2						兼1		
	暮らしの科学	1・2・3・4前後 1・2・3・4後		2		+				兼1	授業運営上の理由による開講時期及び担当者変更 (28)	
	物質と科学	1・2・3・4前		2						兼1		
	現代科学論	1・2・3・4前		2						兼3	オムニバス	
	大阪の風土と文化 京都の文化と芸術 地域理解	大阪の風土と文化	1・2・3・4後		2						兼1	
		京都の文化と芸術	1・2・3・4前		2						兼1	
		地域理解	1・2・3・4前		2						兼1	
	子どもと社会	子どもと文化	1・2・3・4後		2						兼1	
		子どもの成長とコミュニティ	未開講 1・2・3・4後		2						兼1	授業運営上の理由により未開講(28)
	スポーツ健康と	スポーツ演習 1	1・2・3・4前後		2		1 2			1	兼2	授業運営上の理由による担当者変更 (28)
		スポーツ演習 2	1・2・3・4前後		2		1 2			1	兼2 兼3	授業運営上の理由による担当者変更 (28)
		スポーツ演習 3	1後(集) 1・2・3・4前後 -(集)		2		1	1		+	兼2	集中 授業運営上の理由による開講時期及び担当者変更 (28)
健康科学		1・2・3・4前後 1・2・3・4後		2		1				兼1	授業運営上の理由による開講時期変更 (28)	
キャリア支援科目	キャリアデザイン 1	1後		2		1	1		+	兼3 兼2	複数教員配置による担当者調整、授業運営上の理由による担当者追加 (28)	
	キャリアデザイン 2	2前		2			1		1	兼1 兼2	教員組織充実のため兼任教員を専任教員に変更 (28)	
	キャリアデザイン 3	2後		2			1		1	兼1 兼2	教員組織充実のため兼任教員を専任教員に変更 (28)	
	キャリアデザイン 4	3前		2					1	兼2		
	キャリアデザイン 5	3後		2					1	兼2		
	インターンシップ 1	2前		2					1	兼2		
	インターンシップ 2	3前		2					1	兼2		
	キャリア演習 1	2前後		2						兼2	オムニバス	
	キャリア演習 2	2後・3前		2						兼1		
キャリア演習 3	2・3後		2						兼2	集中 共同 (一部)		
演習部 科目共通	基礎演習 1	1前	2			1	2		1 2	兼1	授業運営上の理由による担当者追加 (28)	
	基礎演習 2	1後	2			1	2		1 2	兼1	授業運営上の理由による担当者追加 (28)	
学部 基礎科目	マネジメント入門	1前	2							兼1		
	マネジメントインフォメーション	1後	2							兼1		
	ビジネス会計 I	1・2前	2							兼1		
	ビジネス会計 II	1・2後	2							兼1 兼2	担当者就任辞退による担当者変更 (28)	
	I C T 基礎 I	1前	2							兼1		
I C T 基礎 II	1後	2							兼1			
学部 基幹科目	ビジネスマネジメント	2・3前	2							兼1		
	経営戦略論	2・3後	2							兼1		
	マーケティング論	2・3前	2			1				兼1		
	組織とコミュニケーション	2・3前	2							兼1		
	サービスマネジメント	2・3後	2						+	兼1	担当者就任辞退、兼任教員に変更 (28)	
	リスクマネジメント	2・3後	2							兼1		
学部共通 専門科目	ビジネス会計応用 I	1・2前 4前	2							兼1	授業運営上の理由による開講時期変更 (28)	
	ビジネス会計応用 II	1・2後 4後	2							兼1	授業運営上の理由による開講時期変更 (28)	
	流通論	2・3前	2			2 +				兼1	授業運営上の理由による担当者追加 (28)	
	人事管理	2・3後	2							兼1		
	インターネットビジネス	2・3後	2						+	兼1	担当者就任辞退、兼任教員に変更 (28)	
	ビジネスデータ分析	2・3後	2							兼1		
	情報倫理	2・3前	2							兼1		
	情報社会論	2・3後	2							兼1		
	データベース活用	2・3前	2							兼1		
	情報ネットワーク	2・3後	2							兼1		
	マルチメディア	2・3前	2							兼1		
	生産管理	3・4前	2							兼1		
	社会貢献ビジネス	3・4後	2							兼1		
	経営モデル分析	3・4前	2							兼1		
	国際経営論	3・4前	2					1		兼1	教員組織充実のため兼任教員を専任教員に変更 (28)	
	企業ネットワーク論	3・4前	2							兼1		
	G I S 基礎	3・4前	2							兼1		
	G I S 応用	3・4後	2							兼1		
	プロジェクトマネジメント	3・4前	2							兼1		
	情報セキュリティ	3・4前	2							兼1		
企業コンサルティング入門	3・4後	2			1				兼1			
スポーツマンシップ論	1前	2			1				兼1			
スポーツ栄養	3・4前	2							兼1			
専 科 目 基 礎	スポーツマネジメント入門	2前	2					1				
	スポーツ産業論	1・2前	2	2		1					教育課程充実のため必修科目に変更 (28)	
	スポーツファイナンス	1後 1・2後	2			2 +					授業運営上の理由による開講時期変更、担当者追加 (28)	

学科別専門科目	専門基礎	スポーツマネジメント論	2・3後	2	2	1		1			兼1 教育課程充実のため必修科目に変更(28) 教育課程充実のため必修科目に変更(28) 相当者兼任辞任 兼相教員に委任(28)	
		スポーツ社会学	2・3前		2							
		スポーツマーケティング	2・3後	2	2		1					
		スポーツスポンサーシップ	2・3後		2	1						
		スポーツ法学入門	2・3後		2			1				
		スポーツ心理学	2・3後		2			1				
		スポーツトレーニング論	2・3前		2	1						
		スポーツキャリア論	2・3前		2			1				
	専門展開	スポーツメディア論	3・4前		2						兼1	
		スポーツ施設イベントマネジメント	3・4後		2	1					兼1	
		地域スポーツクラブマネジメント	3・4後		2						兼1	
		スポーツファンシリティマネジメント	3・4前		2			1			兼1	
		スポーツツーリズム	3・4前		2				1		兼1	
		スポーツ用具論	3・4前		2	1					兼1	
		スポーツビジネス特別講義	3・4後		2						兼1	
	専門キャリア	スポーツビジネスマネジメント実践	1後		2	1					兼1	
		スポーツビジネス体験1	1後(集)		2				1		兼1	
		スポーツビジネス体験2	2後		2				1		兼1	
		海外スポーツビジネス調査	2・3後		2	1			1		兼1	
		起業家実践	2・3・4後		2						兼1	
		専門インターンシップ	3・4前		2		2	1			兼1	
	専門演習	専門演習1	2前	2		4	2	3				専任教員1名就任辞任、教員組織充実のため専任教員2名追加(28)
		専門演習2	2後	2		4	2	3				専任教員1名就任辞任、教員組織充実のため専任教員2名追加(28)
		専門演習3	3前	2		4	2	3				専任教員1名就任辞任、教員組織充実のため専任教員2名追加(28)
専門演習4		3後	2		4	2	3				専任教員1名就任辞任、教員組織充実のため専任教員2名追加(28)	
専門演習5		4前	2		4	2	3				専任教員1名就任辞任、教員組織充実のため専任教員2名追加(28)	
専門演習6		4後	4		4	2	3				専任教員1名就任辞任、教員組織充実のため専任教員2名追加(28)	
						4	2	3				専任教員1名就任辞任、教員組織充実のため専任教員2名追加(28)

(注)

- 1 学部等、研究科等若しくは高等専門学校等の学科の設置又は大学における通信教育の開設の届出を行おうとする場合には、授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等、研究科等若しくは高等専門学校等の学科(学位の種類及び分野の変更等に関する基準(平成十五年文部科学省告示第三十九号)別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。)についても作成すること。
- 2 私立の大学若しくは高等専門学校等の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合、大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は、この書類を作成する必要はない。
- 3 開設する授業科目に応じて、適宜科目区分の枠を設けること。
- 4 「授業形態」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 17	科目 128	科目 0	科目 145	科目 20 [3]	科目 125 [△3]	科目 0 [0]	科目 145 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	子どもの成長とコミュニティ	2	1・2・3・4	一般	選択	大学共通科目区分における開講の調整により、今年度は当該科目を未開講。(28)
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目 【該当なし】

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

大学共通科目区分において、他の科目を開講しているため、支障はない。学生へは4月の履修ガイダンス時に周知した。(28)

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.00}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考				
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	「専用」及び「共用する他の学校等の専用」の「その他」面積の変更は土地の購入。「校舎敷地」の変更は使用目的の変更によるもの(28) 大学全体（大阪成蹊短期大学、びわこ成蹊スポーツ大学と共用を含む）				
	校舎敷地	5,708.37㎡	25,780.55㎡	50,299.06 50,490.06㎡	81,787.98 81,978.98㎡					
	運動場用地	0㎡	73,520.01㎡	79,482.00㎡	153,002.01㎡					
	小 計	5,708.37㎡	99,300.56㎡	129,781.06 129,972.06㎡	234,789.99 234,980.99㎡					
	そ の 他	647.70 0㎡	594.52㎡	15,019.28 3,807.28㎡	16,261.50 4,401.80㎡					
	合 計	6,356.07 5,708.37㎡	99,895.08㎡	144,800.34 133,779.34㎡	251,051.49 239,382.79㎡					
(2) 校 舎	専 用	13,197.42 12,415.47㎡	20,506.39 20,532.04㎡	4,109.71 4,348.39㎡	37,813.52 37,295.90㎡	教室の利用用途の見直し及び校舎の増築及び教室等の改築を行ったため(28) 大学全体（大阪成蹊短期大学と共用を含む）				
	13,197.42 (12,415.47㎡)	20,506.39 (20,532.04㎡)	4,109.71 (4,348.39㎡)	37,813.52 (37,295.90㎡)						
(3) 教 室 等	講義室	15 室	34 32 室	47 室	11 10 (補助職員 -人)	教室の利用用途の見直し及び校舎の増築及び教室等の改築を行ったため(28) 大学全体				
	演習室				1 -0 室 (補助職員 -人)					
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数						
	マネジメント学部 スポーツマネジメント学科			12 室						
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標 本			
		〔うち外国書〕	〔うち外国書〕	電子ジャーナル						
		冊	種	〔うち外国書〕				点	点	点
		スポーツマネジメント学科	2,540 [390]	257 [257]				3,105 3,093 (3,105) (3,093)	3,449	34
計	302,968 [38,430] 291,391 [33,631] (302,968 [38,430]) (291,391 [33,631])	2,540 [390] (2,540 [390])	257 [257] (257 [257])	3,105 3,093 (3,105) (3,093)	3,449 (3,449)	34 (34)				
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		利便性向上のため図書館事務室を館内に移動(28)			
	1,625.74 1,757.74㎡		180		303,561					
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要							
	2,357.27 ㎡		該当なし		該当なし					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度			
		教員1人当り研究費等	360千円	360千円	図書購入費	3,116千円	3,116千円	3,116千円		
	共同研究費等	4,000千円	4,000千円	設備購入費	4,000千円	4,000千円	4,000千円			
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次			
		1,222千円	972千円	972千円	972千円	千円	千円			
学生納付金以外の維持方法の概要		手数料収入、私立大学等経常費補助金収入等をもって充当する。								

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成28年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(28)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称	大阪成蹊大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学定員	収容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
マネジメント学部									
マネジメント学科	4	90	-	670	学士 (経営学)	0.96	平成15年度	大阪府大阪市東淀川区相川3丁目10番62号	
スポーツマネジメント学科	4	90	-	90	学士 (経営学)	1.21	平成28年度	同上	
芸術学部									
造形芸術学科	4	177	-	419	学士 (芸術)	0.95	平成18年度	同上	
情報デザイン学科	4	-	-	-	学士 (芸術)	-	平成18年度		平成27年より学生募集停止
環境デザイン学科	4	-	-	-	学士 (芸術)	-	平成18年度		平成27年より学生募集停止
教育学部									
教育学科	4	120	3年次10	350	学士 (教育学)	1.09	平成26年度	同上	
大学の名称	びわこ成蹊スポーツ大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学定員	収容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
スポーツ学研究科									
スポーツ学専攻	2	10	-	20	修士 (スポーツ学)	0.60	平成24年度	滋賀県大津市北比良1204番地	
スポーツ学部									
スポーツ学科	4	360	-	640	学士 (スポーツ学)	1.13	平成27年度	同上	
生涯スポーツ学科	-	-	-	-	学士 (スポーツ学)	-	平成15年度		平成27年より学生募集停止
競技スポーツ学科	-	-	-	-	学士 (スポーツ学)	-	平成15年度		平成27年より学生募集停止
大学の名称	大阪成蹊短期大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学定員	収容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
総合生活学科	2	-	-	-	短期大学士 (生活デザイン) (食物) (栄養)	-	昭和26年度		平成28年より学生募集停止
幼児教育学科	2	300	-	540	短期大学士 (幼児教育)	1.00	昭和31年度	大阪府大阪市東淀川区相川3丁目10番62号	
観光学科	2	90	-	180	短期大学士 (観光)	0.98	昭和42年度	同上	
グローバルコミュニケーション学科	2	30	-	80	短期大学士 (グローバルコミュニケーション)	0.86	平成15年度	同上	
経営会計学科	2	50	-	110	短期大学士 (経営会計)	0.89	平成15年度	同上	
生活デザイン学科	2	50	-	50	短期大学士 (生活デザイン)	0.98	平成28年度	同上	
調理・製菓学科	2	120	-	120	短期大学士 (調理・製菓)	1.07	平成28年度	同上	
栄養学科	2	120	-	120	短期大学士 (栄養)	0.96	平成28年度	同上	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成28年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「ー」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

個人情報を含む内容につき、掲載しておりません。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画	
設 置 時 (27年4月)	<p>学科別専門科目のうち、スポーツ産業に関する科目が選択科目になっているが、設置の趣旨に合致した人材養成を行うために、必修科目にする必要はないか検討し、必要であれば必修科目に改めること。</p>	留意事項	<p>学科別専門科目のうち、スポーツ産業に関する科目として、専門基礎科目の「スポーツ産業論」、専門基幹科目の「スポーツマネジメント論」と「スポーツマーケティング」の3科目を必修とし、学科の人材養成上必要な基礎を確実に身につけられるよう改めた。(28)</p>	
	<p>専門キャリア科目の「スポーツビジネス体験1・2」及び「海外スポーツビジネス調査」は、企業や団体等の協力の下で行うものと思われるが、具体的な協力企業・団体や講義内容が不明確である。そのため、授業を実施するまでの間に、授業が問題なく実施できるよう準備を万全に行うこと。</p>	留意事項	<p>専門キャリア科目の「スポーツビジネス体験1」「スポーツビジネス体験2」「海外スポーツビジネス調査」について、具体的な連携先及び講義内容を明確にし、授業の準備を万全にしている。(28)</p>	
設置計画履行状況 調 査 時	【該当なし】			

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<マネジメント学部 スポーツマネジメント学科>

(1) 設置計画変更事項等 【該当なし】

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

大阪成蹊大学では、学部毎にFD委員会を設け、教員の資質の維持向上に努めている。スポーツマネジメント学科のFD活動については、従来学部で実施している内容を踏襲することとなる。委員会は、学部長が委員長となり、各学科の学科長及び各学科から選出した委員により構成している。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

平成27年度の委員会の開催状況は以下の通りである。

4月9日、5月14日、6月11日、7月9日、9月10日、10月8日、11月12日、12月10日、1月14日、3月10日

（10回開催）

平成28年度についても同時期に10回開催することとしている。

c 委員会の審議事項等

平成27年度のFD委員会においては、①「授業評価アンケート」の内容点検及び実施、分析、②授業参観の企画、運営、実施、③アクティブラーニングの研究及び実施の促進等について審議し実施した。

平成28年度については、従来の学部の活動を踏襲しつつ、学科の教学改革を推し進める中核となる活動をめざす。

② 実施状況

a 実施内容

- ・ 授業評価アンケートの実施 平成27年7月15日～28日、平成28年1月6日～15日の前後期1回ずつ実施
- ・ 教員相互の授業参観（下記の通り実施）
 - 平成27年4月8日～28日 16授業
 - 平成27年5月11日～15日 6授業
 - 平成27年6月1日～26日 5授業
 - 平成27年7月23日 1授業
- ・ 授業研究会 平成27年12月7日 授業見学及び振り返りセッションの実施
- ・ 新任教員のための研修会（平成27年5月）

b 実施方法

上記取組みは、FD委員会で審議し、大阪成蹊学園に設置する高等教育研究所及び教務課等と連携を図り実施した。平成28年度も同様に実施することとしている。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

前述の通り実施した。平成28年度においても同様に実施することとしている。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

授業評価アンケートについては、教員個々の結果をフィードバックするとともに全体の調査結果の分析等を教員会議において報告した。教員相互の授業参観においては、参観後に参加者から授業に関する改善点等の意見書を提出することとした。また、授業研究会においても振り返りセッションにおいて、意見の共有を図るなど、これらの取組みを通じて平成27年度は個々の教員の資質向上を図った。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

前述の通り実施した。

b 教員や学生への公開状況、方法等

教員には結果をペーパーで渡すとともに、学生等に対しては、図書館において閲覧できるようにした。なお、平成28年度においては、調査結果を図書館での閲覧に加えて学生個々に直接ペーパーで配布する予定である。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

スポーツマネジメント学科は、現代の社会・経済・経営・情報環境の下で求められる「スポーツ産業に係るビジネスとマネジメントに関する基礎的能力とスキル」及び「コミュニケーションに関する基礎的能力とスキル」を備え、スポーツ産業における現代の多様な経営課題の解決に貢献できる人材を育成することを設置の目的としている。

初年度は、「大学での学びとキャリアを考える」「日本語コミュニケーション」「情報リテラシー」等、大学生に必要なアカデミックスキルや、社会人としても求められるリテラシーを身につける大学共通基礎科目のほか、幅広い教養を身につけるための教養科目を開講している。また「マネジメント入門」「ビジネス会計」等の学部共通専門科目や「スポーツ産業論」「スポーツファイナンス」等の学科別専門科目を通じて、スポーツマネジメントの基礎を身につけることのできる科目を開講している。入学前教育や、新入生宿泊研修等、4年間を通して学び合う仲間として学生が互いの理解を深めながら、大学での学びを円滑にスタートできるようなプログラムも実施している。

なお初年度開講に向けて、学生にとっての分かりやすさをめざしたシラバス作成や養成する人材像ごとの履修モデルの作成を行い、教育内容や履修系統を学生に対して適切に示すことで、教育効果の向上を図っている。また、各教員が、学生一人ひとりの学修状況や授業への出席状況、進路希望の状況などを把握・共有し、助言・指導を行う体制を整えている。今後も、教育効果を一層高めることができるよう、教育内容や教育体制の一層の充実を図っていく所存である。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成28年8月1日 公表予定

b 公表方法

・自己点検・評価報告書を刊行し、関連所属協会等に配布予定
・大学ホームページ上に公開予定（平成28年8月を予定）

③ 認証評価を受ける計画

・平成29年度に評価機関（公益財団法人 日本高等教育評価機構）の評価を受けるべく、学内で準備中

- (注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表時期(未公表の場合は予定時期) (平成 28年 8月 1日)